

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第14区)

東京都選挙管理委員会

衆議院(小選挙区選出)議員選挙公報(東京都第14区)

東京都選挙管理委員会

暴走政治ストップ! 消費税10%は、きっぱり中止に!



日本共産党
あとう和之
かずゆき

消費税ノーが原点

消費税が導入された1989年、自民党政権が強行した国会中継をみて、心から怒りを感じたのが政治活動の原点です。

自民、民主、公明がすすめた8%増税は、くらしに大打撃を与えました。「増税は先送りではなく中止を」「安倍政権の暴走ストップ」の願いを国会に届けます。

増税は「先送り」でなく中止に
あとう和之は、消費税に頼らず、社会保障を充実し、財政再建をはかる「別の道」(1)富層と大企業に自分の負担を求め、(2)大企業の内部留保を活用し、国民の所得増で税収をふやすいを提案します。雇用、子育ての充実をはります。

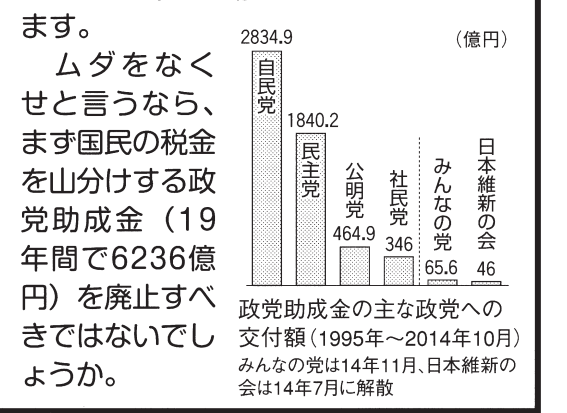
再稼働やめさせ
原発ゼロの日本へ
日本中の原発が止まって1年2カ月、「原発ゼロ」は可能です。あとう和之は、その先頭に立ち、再生可能エネルギーへの大転換をすすめます。

許すな!
「海外で戦争する国づくり」
秘密保護法強行の時には、国会の抗議行動の渦の中にいた、あとう和之。侵略戦争を美化する政治を許さず、集団的自衛権行使容認の「閣議決定」を撤回させ、憲法9条を生かした平和な国づくりをすすめます。

きれいな政治に転換を
今なお繰り返される「政治とカネ」の問題と政党の離合集散。日本共産党は、政党助成金も企業団体献金も受けとらず国民の立場でスジをとっています。

ムタをなくせと言ふなら、まず国民の税金を山分けする政党助成金(19年間で6236億円)を廃止すべきではないでしょうか。

比例代表は
日本共産党と
お書きください



政党助成金の主な政党への交付額(1995年～2014年10月) みんなの党は14年11月、日本維新の会は14年7月に解散

あとう和之の経歴 (阿部かずゆき)
●1971年岡山県生まれ、43歳。東京大学農学部卒。
●1996年日本共産党都委員会に勤務。党准中央委員。

●詳細はホームページで [日本共産党](#) あとう和之 [経歴](#)

国家の暴走にブレーキ!

本場の景気回復は、生活者のため、働く人たちのため、中小企業のために

- アベノミクスは大企業優遇政策で株高・円安により、むしろ中小企業、商店経営者の経営を圧迫している。
- 中小企業を支援する税制(事業承継、交際費課税等)の強化・改善。
- 中小企業の代表者本人以外の第三者保証を禁止。
- 内需を拡大する工業の6次産業化の推進。

今の政府が目指す労働規制緩和を認めず、雇用の安定を図り、世帯の可処分所得の向上を目指す。正社員への転換の推進。

原発依存社会からクリーンエネルギー社会への転換を図り、産業構造の変革と新しいビジネスの創出。

「高齢者切り捨て」の社会保障にストップ

「歳入庁設置法」を制定し、税金と医療年金の保険料、雇用保険の保険料をまとめて扱う歳入庁を設置。

公的年金制度の一元化、最低保障年金の創設を中心とする年金制度改革を目指す。

国民皆保険の堅持。

医療と介護の連携推進。地域包括ケアシステムの構築。

女性が輝く社会と子ども・子育て支援

- 不妊治療に関する支援の充実。
- 保育所、認定こども園、放課後児童クラブ等を通したサービス、育児と仕事の両立ができる支援の充実。
- 待機児童の解消。病後、病児保育等多様な保育の推進。
- 子どもたちの命を守る。子どもの虐待防止に社会全体で取り組む。

消費税は「社会保障のため」という原点上に立ち戻るべき

- デフレ下での増税による国民生活の悪化。約束していた社会保障の充実および議員定数削減など、身を切る改革が果たされていない状況を踏まえ、消費税引き上げは延期。
- 消費税引き上げによる増収分は、すべて社会保障の財源に充てる。

戦うことができる国にブレーキ

- 集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈を閣議決定だけで変更することは、立憲主義を否定するものである。集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める。
- 「領海警備法」でクレーン船事態への対応を強化し、日本を確実に守る。



民主党
たけつか
43歳

昭和46年 7月9日生 43歳 B型
小・中・高生は一貫して野球部に所属。高校在学中は寮生を減らしてレジャーに専念。卒業後、自己鍛錬のため住込みで新聞・牛乳配達

平成10年 西工大 経営学博士 (岡州川区長)秘書となる

平成12年 日本大学 経済学部 卒業

平成13年 西工大 経営学博士 公設秘書となる

平成15年 東京都議会議員 初当選

平成16年 東京都議会議員 再選

平成19年 東京都議会議員 二期目当選

平成21年 東京都議会議員 三期目当選

平成24年 経済産業委員会委員、消費者庁長官幹事を兼任 第48回衆議院総選挙 落選

座右の銘 至誠至天

The Democratic Party of Japan
民主党

この選挙公報の選挙区(東京都第14区)は、
墨田区、荒川区です。

松島みどり 自民党

確かな景気回復。
女性や子どもたちを犯罪から守ります。

自民党公認 公明党推薦 前法務大臣・元経済産業副大臣

松島みどりが取り組みます

- しゅうと・姑を介護した嫁(または婿)が実子並みの相続をできるようにする。
- お年寄りが3カ月で病院から追い出されるシステムを改める。
- 特別養護老人ホームの待機者ゼロ。
- 食事や運動などで健康に気を配り、受診回数の少ない人は健康保険料を安くする。
- 電柱ゼロ。(倒壊による火災発生を防ぐ)
- 中小・小規模企業の事業承継や円滑な廃業を支援。

松島みどりが推進しました

- 個人事業主や従業員5人以下の小規模企業振興基本法」を制定。
- 経営者の個人保証なしで金融機関が融資するガイド
- 生活保護の不正受給を発見しやすく、罰則を強化する法改正。生活保護と最低賃金の逆転を解消した。
- 危険ドラッグの販売や広告の禁止命令を出しやすくするよう法律改正。
- 持ち主不在で倒壊する危険のある「空き家」を自治体が撤去しやすくする法律の整備。
- 「自動車運転致死傷処罰法」を新設し、無免許運転や飲酒運転隠しを厳罰化する

女性性の安全を守るため法務大臣として指示

- 「強盗罪より軽い強盗罪」、性犯罪の法定刑引き上げに「強盗致傷罪より軽い強盗致傷罪」に向けた刑法改正の検討会を死傷罪などを改めるため、法務省に設置。
- 「原材料・エネルギー高に苦しむ中小・小規模企業向けに低金利の公的融資を創設」
- 「原燃料・エネルギー高に苦しむ中小・小規模企業向けに低金利の公的融資を創設」

中小企業政策担当の経済産業副大臣として

- 「個人事業主や従業員5人以下の小規模企業振興基本法」を制定。
- 「経営者の個人保証なしで金融機関が融資するガイド」
- 「生活保護の不正受給を発見しやすく、罰則を強化する法改正。生活保護と最低賃金の逆転を解消した。」
- 「危険ドラッグの販売や広告の禁止命令を出しやすくするよう法律改正。」
- 「持ち主不在で倒壊する危険のある「空き家」を自治体が撤去しやすくする法律の整備。」
- 「自動車運転致死傷処罰法」を新設し、無免許運転や飲酒運転隠しを厳罰化する

比例代表も自民党へ

【主な経歴】衆議院議員(4期)、法務大臣、経済産業副大臣、国土交通副大臣、外務大臣政務官、衆議院青少年問題特別委員長、新聞記者、大学客員教授、東大経済学部卒

【趣味】盆踊り、ラジオ体操、エアロビクス、近現代史、郷土史。

【好きな作家】浅田次郎、吉村昭 【尊敬する人物】勝海舟

【好きな言葉】「昨日の夢は今日の目標、そして明日の現実」

【継続は力なり】「好物」サンマの塩焼き、シラスおろし、焼餃子、もんじゃ、くだもの。●さる年、かに座、A型。夫と2人暮らし。



まつしま
松島
みどり
自民党

投票日 12月14日(日) 午前7時から午後8時まで

投票方法「小選挙区選出議員選挙」と「比例代表選出議員選挙」があります。

- ◇小選挙区選出議員選挙 → 「候補者氏名」を記載
- ◇比例代表選出議員選挙 → 「政党等の名称」を記載

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

- 期日前投票期間 12月3日(水)～12月13日(土) 午前8時30分から午後8時まで
 - 期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
- (期日前投票所によって、投票できる期間等が異なる場合がありますので、区市町村の選挙管理委員会におたずねください。)

この選挙公報の選挙区(東京都第14区)は、

墨田区、荒川区です。